



こんにちは。

トリプルアイズの光石です。いつもお読みいただきありがとうございます。

トリプルマガジンでは、当社の製品やサービスについてはもちろん、IT・AIに関する最新情報を発信しています。たまに社内
の出来事もお知らせします。身近に感じていただけると嬉しいです。

さて今回のコラムは、「脱マスク時代のビジネスチャンス 4/17 放送のWBSでトリプルアイズの顔認証技術紹介～取材の舞台裏」というテーマでお届けします。

トリプルニュースでは、「快拳！将棋採用から4年、トリプルアイズ将棋部が悲願の日本一」「トリプルアイズの片瀬博哉がダイヤモンド・セレクト6月号に登場」「【無料オンラインセミナーのご案内】AI人材は、採用から養成へ——開発リーダーが語るAI人材育成のメソッド 5/17（水）開催」についてご紹介いたします。

さらにIT批評では、「玉川大学文学部名誉教授 岡本裕一郎氏に聞く ーポスト・モダンからポスト・ヒューマニズムへ」についてご紹介します。

ボリューム満点の本号ですが、どうぞ最後までお付き合いください

-----<目次>-----

1. 「脱マスク時代のビジネスチャンス 4/17 放送のWBSでトリプルアイズの顔認証技術紹介～取材の舞台裏」
2. トリプルニュース
3. IT批評
4. 編集後記

-
1. 「脱マスク時代のビジネスチャンス 4/17 放送のWBSでトリプルアイズの顔認証技術紹介～取材の舞台裏」



4月17日（月）放送のWBS（ワールドビジネスサテライト・テレビ東京）でトリプルアイズの**顔認証技術**が紹介されました。

脱マスク時代のビジネスチャンスというテーマで、当社のエンジニアが顔認証システムについてお話しさせていただき、**感情分析 AI エンジン**を用いて、表情から感情を読み取るなど、**顔認証**が持つ多様な可能性が伝わる取材になりました。

今回はその**取材の舞台裏**を、広報担当の光石視点でご紹介させていただきます！

展示会が終わった翌週の4月13日（木）にその電話は鳴りました。広報宛にかかってきたその電話の相手は、**あのワールドビジネスサテライトのデスクの方**。

「御社の顔認証の技術では感情もわかるのですか？」と尋ねられ、より技術的な話になったので、私は上司に代わりました。**感情分析 AI**に関しては、以前別のバラエティー番組でも紹介されたことがあったのですが、**WBS**となるとさらに驚きがありました。

電話が終わるやいなや、興奮していた私は「あのWBSですか？」と食い気味に聞いてしまいました。上司は私とは対照的に落ち着いたトーンで「おそらく現時点ではリサーチ段階で、取材されるかはなんとも言えないね」とのこと。

そして翌朝の14日（金）にまた広報の電話が鳴りました。今度は番組ディレクターから「来週の月曜日に取材が可能か？」と、**その日の夜に放送**するのだそう。

そんなこんなで、あれよあれよと**トリプルアイズの顔認証技術がWBSで紹介されること**が決まったんです。すごいスピード感。しかも、取材時間は夕方16時からの2時間で、その4時間後に放送されるというスケジュール。

たった4人であらわれた取材チームの皆さんは、それぞれが別々の役割をこなしながら、撮影と当社のエンジニアへのインタビューを進められました。

ディレクターさんの短いけれど的確な指示内容に、田中瞳キャスターは臨機応変に対応されていて、カメラマンさんも何を撮ればどんな画ができるのかわかっている動きでした。それも予め共有された**取材のゴール設定が明確**だったからで、それに沿ってチーム全体が動いているように感じました。

その夜、数分間ながらコンパクトにしっかりまとめられた内容で放送され、**最高のプロモーション**になりました！

あっというまに取材の日程調整が進む**機敏性**も、取材時の**チームワーク**にも、放送までの**スケジュール感**にも驚きがあり、それを間近に見られたのは貴重な体験でした。

こんな取材チームを迎えたトリプルアイズのチームワークとスピード感も負けていなかったかと。タイトスケジュール

のなかアサインされた当社エンジニアのKさんの「大丈夫じゃなかったときありましたか？（強気）」のコメントも頼もしい限りでした。内輪ネタですみません。

<https://www.3-ize.jp/information/3091/>

2. トリプルニュース

「快挙！ 将棋採用から4年、トリプルアイズ将棋部が悲願の日本一
—第123回職域団体対抗将棋大会で—



2023年4月16日（日）、アリーナ立川立飛（東京都立川市）にて開催された「第123回職域団体対抗将棋大会」（主催・日本将棋連盟、後援・朝日新聞社）におきまして、**トリプルアイズ将棋部が最上位のSクラスで優勝**しました。

最上位クラスのSクラスでは、ここ数年、常に上位争いに加わるも、強豪リコーチームの後塵を拝してきました。布陣に新たな戦力を加え臨んだ今大会、予選リーグを2勝1敗で通過すると、決勝トーナメントでは、予選で負けを喫した富士通（2）に雪辱、決勝では常勝リコーを下した富士通（1）と対決、スコア結果3-2という接戦を制し、**遂に念願の優勝トロフィー**を掲げることができました。

ちなみに企業名の後の（1）とか（2）というのは、同一企業から複数チームが出場しているということです。リコーさんや富士通さんはSクラスに2チームも送り込んでくる強豪です。

優勝メンバーは「**将棋を愛し、将棋普及のための活動を惜しまなかった今は亡き創業者・福原智の遺志に応えることができ、感無量です**」とインタビューに答えていました。

トリプルアイズでは2019年から「**将棋採用**」を実施しており、若い将棋愛好者のキャリア形成に尽力しています。将棋採用は、創業者でありアマチュア実力者でもあった今は亡き福原智前代表が率先して行ってきました。福原は常々、「将棋は、盤面の状況をロジカルに考えながら駒を置いていく。将棋が強い人は、処理の流れを矛盾なく組み立てていくプログラミングに向いている」と話していました。トリプルアイズは本採用を通じ優秀な思考能力をもつ人材を先端テクノロジーの研究開発において活用し、さらなる進化を図っていく考えです。

<https://www.3-ize.jp/information/3088/>

「日本が不動産 DX のトップランナーになる可能性」

—トリプルアイズの片瀬博哉がダイヤモンド・セレクト 6月号に登場



2023年4月24日(月)発売のムック「ダイヤモンド・セレクト6月号 不動産DX最前線」(ダイヤモンド社刊)において、トリプルアイズの顔認証技術ならびに開発エンジニアのインタビューが掲載されました。

「不動産DX最前線」は、不動産テック・プロップテックと呼ばれるベンチャーの台頭により、激変する不動産業界の現状を多角的に検証しています。本書のまとめで、不動産DXの中核をなすAIテクノロジーの実装と将来の可能性について、トリプルアイズ技術本部 AIZE 開発部部長の片瀬博哉がインタビューに応じています。

<https://www.diamond.co.jp/magazine/002490623.html>

【無料オンラインセミナーのご案内】AI人材は、採用から養成へ——開発リーダーが語るAI人材育成のメソッド 5/17(水)開催

「10年先を見据えたAI人材育成のメソッド」と題して、5月17日(水)に人材教育・研修担当者向けの無料ウェビナーを開催します。

加速度的に進化を遂げるAIサービス。最近ではジェネレーティブAI(生成AI)がトレンドワードとなっていますが、な

かでも最も注目を集めている ChatGPT は、提供開始から 2 カ月間で世界で 1 億人が利用していると言われています。いよいよ AI が社会生活のさまざまなシーンに活用される段階に入ってきました。**企業における AI 活用も待ったなしの状況**です。

本ウェビナーでは、なぜ今 AI エンジニアが必要とされているのかその背景とともに、**AI 技術の活用シーン**、AI エンジニアに求められる**スキル**、**社内人材を AI 人材に育成する方法**などについて解説いたします。AI 研究の最先端で活躍するエンジニアだからこそ語れる、AI 人材育成メソッドにぜひ耳を傾けてください。

■ ウェビナー概要

タイトル：「10 年先を見据えた AI 人材育成のメソッド」

開催日時：2023 年 5 月 17 日（水）19:00～19:30（質疑応答はセミナー終了後）

申込方法：下記 Google フォームにご入力ください。

または pr_tripleize@3-ize.jp 宛にセミナー参加希望の旨を記入いただきお申し込みください。

<https://forms.gle/XwBBomkHxoWcesNC7>

参加費：無料（ご参加には予約が必要です）

開催方法：オンライン（Zoom にて。インストール・ご利用ともに無料です。）

お申し込み完了後、ウェビナー参加 URL をメールにてご案内いたしますので、ご確認ください。

申込期限：2023 年 5 月 16 日（火）17:00

■ ウェビナーアジェンダ

- ・ AI 実装力が会社の未来を左右する、AI 人材が必要とされる背景
 - ・ AI 技術の活用シーン
 - ・ AI エンジニアは採用ではなく養成を
 - ・ トリプルアイズの AI 教育サービスご紹介
- ※オフライン講義 「AI エンジニア養成ブートキャンプ」のご案内を含みます
- ・ 人材開発支援助成金等の活用のご案内

詳細は下記サイトをご覧ください。

https://www.3-ize.jp/case/detail_20230517.html

AI エンジニア養成ブートキャンプ：<https://aibootcamp.jp/>

AI ビジネス実践塾 AT20：<https://at20.jp/>

3. IT 批評

「玉川大学文学部名誉教授 岡本裕一郎氏に聞く ーポスト・モダンからポスト・ヒューマニズムへ」



ポスト・ヒューマンってなんだろう？

人間中心主義としてのヒューマニズムは、近代以降、私たちの歴史に大きな影響をもちながら前世紀のポスト・モダンの文化状況のなかでゆるぎ始めました。人間の終焉さえも感じさせる今世紀において“ポスト・ヒューマニズム”は単なる思潮を示すものではなくてきています。テクノロジーの進化によって実体としての「ポスト・ヒューマン」の誕生が現実味を帯びてきたからです。「ポスト・ヒューマン的展開」を説く岡本裕一郎氏に訊きました。

- (1) ポスト・モダンからポスト・ヒューマニズムへ
- (2) テクノロジーは人と共同体の内外に変容をせまる
- (3) 本当のポスト・モダンは今から到来する

ぜひご一読ください！

<https://it-hiyou.com/>

編集後記

お伝えしたいことが多すぎて盛りだくさんの内容になってしまいました。それだけニュースがあるということは嬉しいことではありますが、ここまで読んでくださった皆さま、ありがとうございます。

さて、来週はGWに突入ですね。皆さんはどのように過ごす予定でしょうか。私はというと絶賛イヤイヤ期中の2歳児をつれての帰省予定で、フライトに不安しかありません。

それでは、次回のトリプルマガジンもお楽しみに。
